

第47期 中間株主通信

2025年4月1日から2025年9月30日まで



©CAPCOM

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループ第47期中間期(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の事業の概況と業績についてご報告申し上げます。

当中間期におきましては、当社グループは、グローバル市場においてさらなる進化と拡大を図るため、デジタル販売の継続的な強化を主軸とした成長投資を積極的に推し進めました。また、当社グループの最優先課題の一つである人材投資戦略について、安定的、持続的な成長のため、将来を支える人材の確保と育成に向けた人的資本への投資を継続し、中長期的な企業価値向上を図りました。

事業の状況につきましては、中核事業であるデジタルコンテンツ事業において、新型ゲーム機向け移植タイトルの発売やリピータイトルの販売強化により、グローバルに販売本数の増加を図りました。これにより、当中間期におけるデジタルコンテンツ事業は、246タイトルを231の国や地域に販売し、販売本数は2,385万本と前年同期2,002万本を上回り、業績向上に寄与しました。

また、当社グループの主力コンテンツとeスポーツ・映像・キャラクタービジネスとの連携によるIPの持つブランド力の向上に努めました。加えて、アミューズメント施設事業における堅実な店舗運営や積極的な新業態店舗の推進、アミューズメント機器事業におけるスマートパチスロの継続投入や当社グループの人気IP活用等の施策により、収益の向上を図りました。

このほか、当社グループは、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)において、大阪府・市などが出展した「大阪ヘルスケアパビリオン」への協賛、参加等により、地域・文化・技術の振興に努めてまいりました。

この結果、当中間期の売上高は811億52百万円(前年同期比43.9%増)、営業利益は393億33百万円(前年同期比89.8%増)、経常利益は365億43百万円(前年同期比76.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は275億14百万円(前年同期比80.1%増)となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株当たり20円とさせていただきます。

今後、下期における新規タイトル販売などの施策により、今期の計画達成に向けて注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年11月

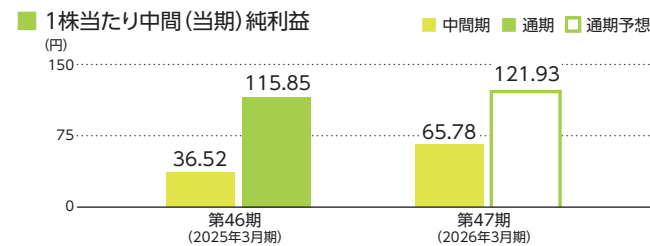
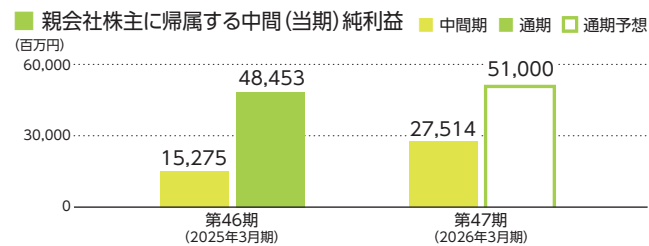
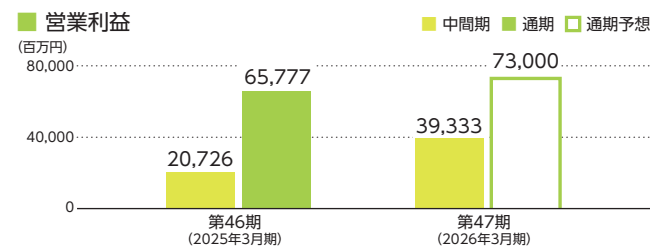
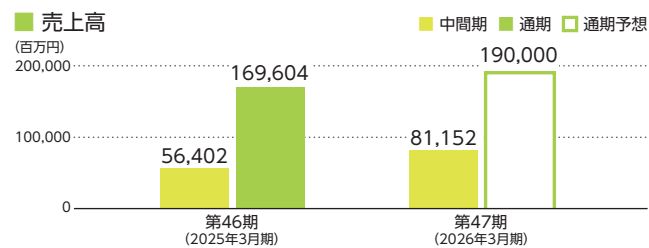
代表取締役会長
最高経営責任者(CEO)

辻本 憲三

代表取締役社長
社長執行役員
最高執行責任者(COO)

辻本 春弘

決算ハイライト



事業の概況

デジタルコンテンツ事業

5月に『カプコンファイティングコレクション 2』(Nintendo Switch、プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用)および『鬼武者2』(プレイステーション 4、Nintendo Switch、Xbox One、パソコン用)を発売し、シリーズファンを中心とした根強い支持を集めました。加えて、6月にNintendo Switch 2 向けに『ストリートファイター6』および『祇(く)につがみ):Path of the Goddess』を発売しました。

リピータイトールにおいては、『ストリートファイター6』について、新型ゲーム機への展開に加え、引き続きeスポーツ展開との連携等によるブランド認知とユーザー数の拡大を推し進めたことなどにより、累計販売本数が全世界で500万本を突破しました。また、主力シリーズ「バイオハザード」の最新作『バイオハザード レクイエム』の来年2月発売を発表し、今年8月にドイツで開催された「gamescom 2025」の欧州最大級のゲームアワード「gamescom award 2025」において同タイトルが最多受賞の4冠を達成するなど、ユーザーの期待が高まる中、『バイオハザード ヴィレッジ』および『バイオハザード RE:4』をはじめとした同シリーズタイトルの販売が続伸しました。加えて、『デビル メイ クライ 5』も、映像作品の公開に合わせた価格施策や、IPの認知拡大によるブランド価値向上を図ったことにより好調に推移したほか、今年2月発売のシリーズ最新作『モンスターハンターワイルズ』の販売に伴い、同シリーズの過去作『モンスターハンターライズ』が引き続き販売本数を伸ばすなど、リピータイトールの販売本数は2,285万本と前年同期1,895万本を上回りました。

また、9月に開催された「東京ゲームショー2025」において、今後発売予定のタイトル試遊などを中心とした当社出展ブースが活況を呈しました。さらに、併せて発表された「日本ゲーム大賞2025」において、『モンスターハンターワイルズ』が年間作品部門で「優秀賞」を受賞するとともに、今期発売を発表の『バイオハザード レクイエム』および『モンスターハンターストーリー3 ～運命の双竜～』をはじめとする4作品がフューチャー部門で選出され、今後のタイトル販売に弾みをつけました。

この結果、売上高は498億52百万円(前年同期比25.3%増)、営業利益は313億78百万円(前年同期比52.0%増)となりました。



『ストリートファイター6』

アミューズメント施設事業

インバウンド需要の増加に加え、ユーザーの消費行動に変化が見られる状況下、引き続き既存店の堅実な店舗運営や新業態での出店効果などにより、収益拡大に貢献しました。また、各店舗におけるイベント実施等により、リアル店舗の魅力の最大化と他事業とのシナジー効果の創出を推進しました。

当中間期において、4月に総合キャラクターグッズ専門店「キャラカプ」とカプセルトイ専門店「カプセルラボ」を併設した「キャラカプ/カプセルラボ ららぽーと安城店」(愛知県)、当社人気キャラクターグッズの物販店「カプコンストア センダイ」(宮城県)をオープンしました。また、6月に「プラサカプコン/カプセルラボ ららテラス北綾瀬店」(東京都)を出店するとともに、7月には当社の最新情報を体験できる「DIVE!CAPCOM」をはじめ、「キャラカプ」や「カプセルラボ」を併設した体感型施設「CAPCOM CONNECT SPACE (カプコンコネクトスペース)」(大阪府)をオープンするなど、合計4店舗を出店しましたので、施設数は57店舗となっております。

この結果、売上高は124億50百万円(前年同期比13.3%増)、営業利益は20億19百万円(前年同期比21.1%増)となりました。



「CAPCOM CONNECT SPACE」(大阪府)

アミューズメント機器事業



スマスロ『デビル メイ クライ 5 スタイリッシュシュートライブ』



スマスロ『新鬼武者3』

スマートパチスロを中心に市場が堅調に推移している環境下、6月稼働の新機種スマスロ『デビル メイ クライ 5 スタイリッシュシュートライブ』を11千台販売するとともに、10月6日稼働開始の新機種スマスロ『新鬼武者3』を18.2千台出荷し、収益に貢献しました。

また、昨年11月稼働のスマスロ『モンスターハンターライズ』および今年3月稼働のスマスロ『バイオハザード5』がプレイヤーからの高評価による長期稼働を受け、リピーター販売も好調に推移しました。

この結果、売上高は151億91百万円(前年同期比378.3%増)、営業利益は90億78百万円(前年同期比471.9%増)となりました。

その他事業

eスポーツビジネスにおいて、人気タイトル『ストリートファイター6』を用いた「CAPCOM Pro Tour 2025」を5月から世界各地で開催するとともに、国内でのチームリーグ戦「ストリートファイターリーグ: Pro-JP 2025」を8月から開催するなど、各大会において熱戦が繰り広げられました。また、2025年シーズンにおいても、各大会の決勝大会について、昨シーズンに活況を呈した両国国技館での開催を決定したことに加え、グローバル規模でのユーザー層の裾野拡大に向けた施策を実施しました。

映像ビジネスにおいては、Netflixの新作アニメ『Devil May Cry』が4月に全世界で配信されました。加えて、キャラクタービジネスにおいて、人気タイトル等のキャラクターグッズや各種イベント展開などに注力しました。さらに、当社ゲーム開発のプロセス等を展示した「大カプコン展 -世界を魅了するゲームクリエイション」が大阪を皮切りに各地で開催され好評を博すなど、コーポレートブランドの価値向上に向けた施策を講じました。

この結果、売上高は36億57百万円(前年同期比48.7%増)、営業利益は20億80百万円(前年同期比74.0%増)となりました。



「ストリートファイターリーグ: Pro-JP 2025」

会社の概要

(2025年9月30日現在)

社名	株式会社 カプコン (CAPCOM CO., LTD.)
設立	1979年5月30日
創業	1983年6月11日
主要な事業内容	家庭用テレビゲームソフト、モバイルコンテンツおよびアミューズメント機器等の企画、開発、製造、販売、配信ならびにアミューズメント施設の運営
資本金	332億39百万円
従業員数	連結3,979名(単体3,570名)
ウェブサイト	https://www.capcom.co.jp/

取締役および監査等委員である取締役 (2025年9月30日現在)

代表取締役会長 最高経営責任者(CEO)	辻 本 憲 三
代表取締役社長 社長執行役員 最高執行責任者(COO)	辻 本 春 弘
代表取締役 副社長執行役員 最高人事責任者(CHO) 最高財務責任者(CFO)	宮 崎 智 史
取締役 専務執行役員	石 田 義 則
取締役 専務執行役員 最高製品責任者(CPO)	辻 本 良 三
取締役 専務執行役員	笹 原 芳 信
社外取締役	水 越 豊
社外取締役	武 藤 敏 郎
社外取締役	廣 瀬 由 美
社外取締役	幸 田 真 音
社外取締役	メットキャフ 康 子
取締役 (常勤監査等委員)	平 尾 一 氏
社外取締役 (常勤監査等委員)	上 良 睦 彦
社外取締役 (監査等委員)	小 谷 渉

IRサイトのご案内

当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ウェブサイトを活用したIR活動にも注力しております。ここでは、株式情報や経営戦略に加え、販売データやアナリストの評価など様々な情報提供を行っております。

スマートフォンからもIR情報へアクセス

QRコードの読み取りに対応したスマートフォンをお持ちの方は、右の画像を読み込むことで簡単にIRサイトにアクセスできます。

<https://www.capcom.co.jp/ir/>

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



株式の状況

(2025年9月30日現在)

■発行可能株式総数	1,200,000,000株
■発行済株式の総数	533,011,246株
■株主数	45,873名
■大株主(上位10名)	

株主名	持株数 千株	持株比率 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	58,264	13.67
株式会社クロスロード	43,734	10.26
ジェーピー モルガン チェース バンク 380815	35,188	8.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	22,586	5.30
辻 本 美 之	15,927	3.74
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001	14,187	3.33
辻 本 春 弘	10,052	2.36
辻 本 良 三	9,937	2.33
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	8,270	1.94
辻 本 憲 三	8,079	1.90

(注) 持株比率については、自己株式数(106,789千株)を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公 告 方 法	電子公告 当社のウェブサイト(https://www.capcom.co.jp/)に掲載します。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行にお問い合わせください。なお、同行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

